

請 願 文 書 表

平成 27 年 6 月盛岡市議会定例会 (平成 27 年 6 月 25 日)

受理 番号	受理年月日	請 願 の 要 旨	提 出 者 及 び 紹 介 議 員	付 託 委員会
5	H27. 6. 18	人種差別を扇動するヘイトスピーチを禁止し処罰する法律の制定を求める請願	<div style="background-color: black; width: 100px; height: 15px; margin-bottom: 5px;"></div> 申 百 澈 (紹介議員) 菊 田 隆 鈴木 礼子 兼 平 孝信 高 橋 重幸 佐々木 信一 伊 達 康子 守 谷 祐志	総 務 常任委員会
6	H27. 6. 18	放射能汚染物焼却の安全確認に関する請願	<div style="background-color: black; width: 100px; height: 15px; margin-bottom: 5px;"></div> 春を呼ぶ会 吉 田 みゆき (紹介議員) 鈴木 礼子 佐々木 信一	産 業 環 境 常任委員会

人種差別を扇動するヘイトスピーチを禁止し
処罰する法律の制定を求める請願書

紹介議員：菊田隆

紹介議員：鈴木礼子

紹介議員：兼平孝信

紹介議員：高橋重幸

紹介議員：佐々木信一

紹介議員：伊達康子

紹介議員：寺谷祐志

請願第 5 号



2015年6月12日

盛岡市議会

議長 金沢 陽介 様

[請願者]

住所:

在日本大韓民国民団岩手県地方本部

団長 申 百澈

電話:

FAX:

人種差別を扇動するヘイトスピーチを禁止し 処罰する法律の制定を求める請願書

初夏の候、貴議会におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は、地域住民の生活向上と人権擁護のために誠心誠意ご尽力をされている貴職に対し、心より敬意を表す次第です。

さて、ご存じのようにここ数年来、主に在日韓国人を標的としたヘイトスピーチ(差別扇動デモ)が日本各地で頻繁に起こっています。とりわけ「朝鮮人を皆殺しにせよ」「不逞鮮人追放」「大虐殺するぞ」「良い韓国人も悪い韓国人もどちらも殺せ」などの聞くに堪えない暴言に対し、私たちは耐えがたい恐怖を感じています。

ヘイトスピーチを行う団体は、在特会(在日特権を許さない市民の会)をはじめとするネット右翼や新興の右派団体です。繁華街を拡声器を使って怒声を飛ばしながらレイシズム的表現で憎悪を煽る彼らの一連の言動は、日本の社会問題として深刻化しています。日本の各界におきましても、あまりにも常軌を逸した彼らによる人種差別を憂慮し規制を求める声が上がっており、2020年の東京オリンピックを控え、国際社会においても問題視されているのが現状です。

私たちはこれからのことを重く捉え、在日韓国人をはじめとする外国人住民の生命と安全を脅かすヘイトスピーチ、ヘイトクライムが一日も早く根絶されるよう、貴議会に対し速やかな解決に向けたご協力を願い、以下のように請願する次第です。

《請願趣旨》

1. 内閣総理大臣と国会を始めとした関係行政庁に対し、人種差別・民族差別を煽るヘイトスピーチなどを法律で禁止することを求める意見書を提出してください。
2. 日本国が批准している人種差別撤廃条約2条1項柱書及び同条項(b)(d)、並びに4条(c)にもとづき、人種差別を助長し扇動する団体に対しては、貴自治体内でのデモ、集会、並びに公共施設の使用許可を出さないようにして下さい。
3. 日本国が批准を留保している人種差別撤廃条約4条(a)(b)に関し、その留保を撤回するよう、内閣総理大臣と国会を始めとした関係行政庁に働きかけてください。

《請願理由》

- ①ヘイトスピーチは、人種差別を煽る「犯罪」行為です。
- ②ヘイトスピーチは、特に韓国人住民にとっては大きな脅威であり、教育上、子どもや青少年に悪影響を与えています。
- ③京都地裁・大阪高裁が在特会による街宣は「人種差別」と認定し、賠償命令を下しています。
- ④彼らの言動は日本社会の問題であり、ヘイトスピーチの放置が東京オリンピックをはじめとした国際交流事業に与える影響が憂慮されます。
- ⑤国連・自由権規約委員会および人種差別撤廃委員会が日本に勧告しています。
- ⑥ヘイトスピーチは国際社会では処罰対象となっています。

- 以上 -

平成27年6月18日

盛岡市議会議長 金沢陽介様

請願者
春を呼ぶ会 (盛岡市)

問合せ先

住所

氏名 春を呼ぶ会 吉田みゆき



賛同団体

・風下の会(福島市)
寺崎前地区の環境を守る会(一関市千厩町)
震災復興プロジェクト近畿(大阪府)
子どもに豊かな未来とふるさとを残す会(宮古市)
滋賀県放射性チップを告発する会 (滋賀県)
大阪・放射能ガレキ広域処理差し止め裁判原告団 (大阪府)
おおさか生命環境コミュニティス(大阪府高槻市)
堺市の震災復興資金返還を求める市民の会(大阪府堺市)
NPO法人ごみ問題5市連絡会 (東京都)
放射能から遠野のわらすっ子たちを守る会 (遠野市)
原発やめよう/つながろう関西・マダム会議 (大阪府・兵庫県)

請願第 6 号



放射能汚染物焼却の安全確認に関する請願

紹介議員氏名

鈴木礼子
佐々木信一

請願の趣旨

日頃、盛岡市民の生活や福祉のためご尽力に敬意を表します。

この度、盛岡市玉山区にある岩手・玉山環境組合（玉山清掃事業所）で放射性セシウムに汚染された牧草やホダ木等の農林業系副産物を焼却する処理方針には、「既に県内 12 市町村において焼却処理が実施されており、放射性物質検査の結果、すべての市町村において安全性が確認されている状況」が明記されています。この安全性の確認は、環境省告示第百十一号に従った排ガス中の放射能濃度測定、および焼却灰等の放射性物質濃度の測定により行われています。

しかしながら、環境省の排ガス測定方法では排ガス中の放射性セシウムを検出できないことが専門家により指摘されています。そこで、以下の事を要望いたします。

請願事項

市民が、焼却施設からの排ガスについて、原子力施設内の焼却施設で行われている排ガス中の放射性物質測定方法と同一原理（シンチレーション方式）（別紙 1：「排ガス観測実験の提案」参照）で焼却処理の安全確認することを、許可願います。

なお、本実験は観測作業であり、測定作業ではないため排ガス中の事故由来放射性物質の濃度の測定方法を定めた環境省告示第百十一号に抵触しません。実際、福島県の県中浄化センターでは観測作業ということで、環境省告示第百十一号に示された測定方法ではない観測装置が導入されています。

請願の理由

1. 元大手電機メーカーの電気工学技術者の榎木博一氏より、環境省の排ガス測定方法では排ガス中の放射性セシウムを検出できないことが指摘されています（別紙 2 丹後新聞 2015 年 6 月 11 日）。

また、春を呼ぶ会より榎木博一氏に要請し、平成 26 年 11 月 14 日（金）盛岡市議会産業環境常任委員会にて、

- ・ 焼却施設から放射性セシウムが大気中に放出されるメカニズム
- ・ 環境省の排ガス測定方法では排ガス中の放射性セシウムを検出できない理由
- ・ 環境省の排ガス測定方法に代わる測定法の提案

を説明していただきました（別紙3：朝日新聞 2014年11月15日）。

2. 2014年3月に東京都から岡山県へ避難された三田茂医師が、講演会で子ども達の健康被害が焼却炉周辺に集中している事、また、血液検査の結果から放射線従事者にしか検出されない項目（異型リンパ球）が検出されている事等を報告し、食べ物より呼吸による影響が大きい可能性が指摘されています。
3. 原子力発電所施設内の雑固体廃棄物焼却炉では、排ガス中の放射性物質についてシンチレーション方式の放射線モニターで連続観測が行われており、一般焼却炉の排ガス中の放射能測定と異なっています。
（別紙4：放射線モニターとばいじん計について）
4. 静岡市の震災がれき試験焼却時に、静岡県のみ市民団体「セーブ・ジャパン・ネットワーク」の方が降下ばいじん法で、焼却施設周辺の降下塵埃中に含まれる放射性セシウムを測定し、焼却炉風下で試験焼却時の3日間で一か月分の約7割に相当するセシウムの降下量があったことを報告し、膨大な量が焼却施設から放射性物質が大気中に放出されている可能性を指摘しています。
（別紙5：井部正之（2013.1.10）静岡市の震災がれき試験焼却で明らかになった広域処理での放射能拡散増加の可能性）
5. 盛岡市立小学校の定期健康診断疾病異常調査票を調べた結果、焼却施設近辺で気管支喘息の罹患率が高いことがわかりました。このことは、超微小粒子が焼却炉から漏れ出ていることを示しており、放射性物質が加われば今後さらに健康被害が懸念されます。
（別紙6 盛岡市立小学校の喘息罹患率について）
6. 岩手の震災廃棄物3万6千トンが焼却された大阪では、健康被害が相次いで報告されています。（震災廃棄物広域処理差止等請求事件）。
（別紙7 原告意見陳述）
7. 震災廃棄物広域処理差止等請求事件では、琉球大学名誉教授 矢ヶ崎克馬氏により意見書「バグフィルターのセシウム除去効率について」が提出され、焼却することの危険性が指摘されています。岩手玉山環境組合では、バグフィルターすらつけられていません。セシウムが漏れないという根拠があり

ません。

(別紙8 矢ヶ崎克馬氏 意見書「バグフィルターのセシウム除去率について」)

8. 宮古市の焼却炉において、放射性セシウムの収支をもとに焼却灰中回収率が計算され、セシウム総量の約2割が行方不明であり、それらは排ガスから漏れている可能性が指摘されています。

(別紙9 岩見億丈ら 2014.6、ゴミ焼却時における放射性セシウムの排ガスへの漏れ)